



公立大学法人 新見公立大学

人と地域の未来を創る

新見公立大学の学生を 応援するまち宣言

2019年9月30日



新見市長
池田 一二三

大学を活かしたまちづくり

新見公立大学が開学40年を迎え喜ばしい限りであります。

開学以来、保育、看護、福祉の優秀な専門職人材を輩出し、今日まで着実な歩みを続け、高い評価をいただいております。大学発展に力を尽くしてこられました学長をはじめ教職員の皆さま方、学生を温かく支えていただいた後援会や同窓会の皆さま方、さらには地域の皆さま方に深い敬意と感謝を申し上げます。

地域共生社会の実現に向けて、今後ますます新見公立大学との連携を強め、「大学を活かしたまちづくり」を進めてまいります。



新見市議会議長
藤澤 正則

大学と市民、行政、議会が一体で

新見公立大学は、昭和55年、広域事務組合立の女子短期大学として開学し、本年で開学40年を迎えることとなり、誠にありがとうございます。

さて、本市議会においては、昨年9月「新見公立大学の学生を応援するまち宣言」を採択しました。学生の皆さんと地域とが積極的に関わっていただくことこそが、本市の活性化と地域振興につながるものです。

大学と市民、行政、議会が一体となり、豊かな自然環境を活かした持続可能なまちづくりに欠かせない新見公立大学を引き続き応援してまいります。

夢をかなえる 学びがある



新見公立大学・短期大学 同窓会
会長 上田 奈津美

地域福祉学科
松田 地域福祉学科が目指す、地域共生社会の基盤を創る「21世紀型スーパー地域福祉人材」とは、
公文 短大での「介護福祉士養成課程を基盤に「社会福祉士養成課程を組み入れ、複数の資格と創造的な知識・技能をもって、まちをつくる人材を育てます。社会福祉士として活躍したい学生は、行政書士など法律系の資格も取得できます。
藻谷 この「スーパー」は境界を超えること。福祉の現場を経験した人が自治体に入り、世の中を変えていくようなことも考えられます。
末光 介護福祉士の養成校が増える中、4年制カリキュラムで専門性を

社会福祉法人旭川荘 理事長 末光 茂 氏



すえみつ・しげる 1942年愛媛県生まれ。67年岡山大学医学部を卒業し、旭川荘旭川児童院の児童精神科医に、88年同院院長。91年川崎医療福祉大教授、2007年から現職。上海市第二社会福利院名誉院長など務める。

保健福祉の試み アジアのモデルに

松田 あらためて新見公立大学への期待をお伺いします。
末光 保育、看護、介護、福祉がそろっているのは強い。次はアジアを視野にリーダーシップを取っていただきたい。
西村 保健福祉に携わる人がパーンアウト(燃え尽き症候群)しないよう、お互い支え合う今の楽しい雰囲気共有していただきたい。
藻谷 これから後期高齢者が増える中、新見公立大学の目指す「健康

展望

するコホート研究に理想的な規模です。新見公立大学には大学院看護学研究科もあり、地域で臨床研究ができれば世界レベルのモデルになりますよ。

松田 地域で学び、地域を支える「先進的な試みをスタートした大学の展望を。
公文 本学は「課題先進地」にあることを地の利として生かす研究と教育を実践します。その中で、昨年は設置自治体の規模や学科構成が似ている北海道・名寄市立大学と学術交流協定を締結しました。知的好奇心を刺激する新たな交流が学生たちの成長にきつとつながるでしょう。大学と行政が共に持続可能な未来を創ることを命題に、人に優しい地域共生社会の実現に向けて新・健康科学部を発展させていきます。

NPO法人 日本コンチネンス協会会長 西村かおる 氏



にしむら・かおる 1957年高知県生まれ。東京都公衆衛生看護専門学校卒業後、東京衛生病院に訪問看護師として勤務。英国で地域看護とコンチネンスケア(排せつケア)を学び、93年日本コンチネンス協会を設立。

恵まれた環境で 元気に学べる

を高めるのは大変意義がある。私は介護の専門性を社会がもっと認識すべきだと思っています。

松田 看護学科は、全ての世代の「心と体の健康を支える看護専門職」を育成します。カリキュラムの特色は、公文 定員を60人から80人に増やし、新たに看護教諭養成課程と訪問看護・地域看護コースを設けました。同コースを正規科目にするのは全国初で、中山間地域の訪問看護を担える看護師を養成します。
末光 中国で医者には三つあるといいますが。病気を治す常医、病人を治す中医、国や地域を治す上医(国医)です。新見公立大学の取り組みはまさに上医に通じます。
西村 新見市の人口約3万人は集団の特性と疾病の関連を長期間観察

看護学科

山陽新聞社 代表取締役社長 松田 正己 氏



まつだ・まさみ 1949年岡山市生まれ。73年香川大経済学部を卒業し、山陽新聞社入社。東京支社長、取締役編集局長、常務取締役倉敷本社代表などを経て2014年6月から現職。16年から岡山経済同友会代表幹事。

地域ぐるみで 先進的な取り組み

新棟「地域共生推進センター」

今年7月完成へ

新見公立大学で建設中の「地域共生推進センター」棟は地上5階・地下1階(延べ約6070平方メートル)。学生はもちろん、市民も学べる地域交流の場として、大講堂(収容人員:400人)、コミュニケーションカフェ、パソコン教室のほか、大学の教室、研究室、看護実習室などを配置。玄関には新見市の主要産業である石灰(ライム)を使ったアート作品を展示します。



イメージ図



地域共生推進センター
(今年7月完成予定)

設計・監理 (株)宮崎建築設計事務所

施工

〈建築主体〉 片岡工業(株) 宗宏工業(株) 杉岡建設(株)
〈電気設備〉 (株)中電工新見営業所 東亜電気(株)
〈機械設備〉 (株)三備電業社 中村建設(株)新見支店